

10

OCTOBER

2019.

VOL. 16

# Whisky Galore

[ウイスキーガロア]

特集

## Irish Whiskey

アイリッシュ・ルネッサンス  
その復興への道を探る

アイリッシュウイスキーカタログ全72本

ガロア的パブ巡り

スコッチ最前線

ブラッドノック/ガーヴァン



Photo by Ayumi Fujita

## W杯もTOKYO2020も「酒外交」しよう！ たとえば、外国人に人気のSAKE「BORN(梵)」と 高級珍味などいかが

「ラグビー・ワールドカップ2019 日本大会」のアルコルサプライヤーはハイネケンだそう。ラグビーファンのビール消費量は半端ないらしいから、さて、どれだけのハイネケンが消費されるのだろう。ちなみにTOKYO2020はアサヒビールがビールとワインの提供社。せっかくだから日本のビールを楽しんでもらいたいのものだ。しかし、いずれも日本開催なのに「日本の酒」が公式サプライヤーになっていないのが、なんとも歯痒い。聞けば、ワールドラグビー国際競技連盟もオリンピック委員会(IOC)も開催地の酒にも食にも興味がないのだとか。飲食に関わるオペレーションはほぼ連盟や委員会の息のかかった外資が担当する。がっかりだ。

だけど、全国各地で行われる文化イベントでは、できるだけ日本の酒で乾杯しようよ。

たとえば、名前が覚えやすく、味わいも素晴らしいと海外で高評価を得ている、福井県鯖江市、加藤吉平商店の「梵」など調べてつけ。だって英語名は「BORN」なんだから。2019年には、ロンドン・酒チャレンジ、パリ・クラマスター、テスコム・インターナ

ショナル・ワインアワード(テキサス)、ワイングラスでおいしい日本酒アワード(東京)で軒並みプラチナ賞や金賞受賞というエビデンスもある。

なかでもおすすめは「梵・日本の翼」。兵庫県特A地区産契約栽培の山田錦を使用し、氷点下で約2年間熟成した純米大吟醸酒だ。スカイブルーのボトルに品格あるラベルのイメージ通り、味わいもクリアでなめらかで、さすがしさと深く芳醇な旨味を兼ね備え、エレガントな余韻を楽しめる名品だ。

おつまみは研ぎ澄まされた無駄のない高級珍味がいい。同じ福井生まれの汐雲丹、鯖のへしこ、シャリシャリした歯ざわりの花らつきょうだ。これら最高の珍味を美しく提供してくれるのは、福井県三國の名料亭旅館「望洋楼」の東京支店、「ふくい、望洋楼」(南青山)。冬は越前ガニがメインだけど、今の時期なら、まだ明るい時分から、酒がおいしくなるアテをちよいとつまんで、冷たい酒をぐびりとやるのが幸せだ。ああ、こういうおいしいさを外国人旅行者やサポーターに体験してもらいたいんだよね。

日本の酒が公式パートナーやサプライヤーでなくとも、われら「ニッポン

の酒好き」が、酒外交のミッションをしっかりと承るので、日本政府は早く公式「酒文化おもてなし交流チーム」として認定してくれないかなあ。いい仕事しませ。

ともだあきこ ソムリエとして酒類業界に携わり、ワイン・日本酒・焼酎・ビール・カクテルと幅広く精通。一般・プロ向けセミナー、料飲店・ホテル旅館等へのコンサルティング、観光PR支援等を行う。2016年より一般社団法人日本のSAKEとWINEを愛する女性の会(通称・SAKE女の会)代表理事。最新の著書に『ツウになる！日本酒の教本』『ツウになる！ワインの教本』など。



### ふくい、望洋楼

〒107-0062  
東京都港区南青山5-4-41 グラッセリア青山 1F  
☎ 03-6427-2918  
ランチ 11:30 ~ 14:30  
ディナー 17:30 ~ 21:00 (最終入店)  
定休日 月約2回

※写真の珍味3種盛りは  
通常のメニューにはありません